

シンポジウム

裁判員の「体験」を踏まえた 裁判員制度

日時：2020年11月21日(土)14:00-17:00

会場：Zoomによるオンライン配信

(配信会場：弘前大学人文社会科学部校舎 4階多目的ホール)

プログラム

第1部／報告 裁判員制度の課題

平野 潔 (弘前大学人文社会科学部)

飯 考行 (専修大学法学部)

河野 敏也 (桃山学院大学法学部)

第2部／パネルディスカッション

裁判員経験者の「体験」を踏まえた裁判員制度

コーディネーター：飯 考行 (専修大学法学部)

パネリスト：裁判員経験者など

趣旨：

昨年、裁判員制度は制度が施行されて10年目を迎えました。弘前大学では、この10年を振り返って課題を検証し、次の10年に向けた課題についても、裁判員経験者、法曹関係者を交えて議論を行いました。

制度そのものは比較的順調に運用されていますが、課題はまだ残されています。そこで、次の10年に向けて裁判員経験者の「体験」を踏まえて、どのような課題をどのように克服していくべきかについて、広く議論をしてみたいと思います。

※参加を希望される方は、下記「問い合わせ先」までメールで「お名前」「ご所属」「連絡先メールアドレス」をお知らせください。追ってZoom会議URLをお知らせします。

※配信会場でシンポジウムをご覧になることも可能です。その場合も、下記「問い合わせ先」まで事前に申し込みをしてください。当日は、マスクをご持参いただき、会場では着用をお願いいたします。また、手指の消毒にもご協力いただき、密な状況を避けるため、指定された席に着かれるようお願いいたします。

※状況次第では、Zoomによるオンライン配信のみになる場合もあります。その点もご承知おきください。

主催：弘前大学人文社会科学部
共催：弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター

問い合わせ先：弘前大学人文社会科学部・平野 潔
tel&fax：0172-39-3199 e-mail：k-hirano@hirosaki-u.ac.jp

弘前大学
地域未来創生センター
Innovative Regional Research Center



弘前大学

本シンポジウムは、一般財団法人司法協会の2019年度研究助成を受けて行われるものです。